

宮城県IT戦略推進計画の進捗状況について(総括表)

各分野の目標・施策	プロジェクト	プロジェクトの内容	事業スケジュール			担当課	課題等	
			H13	H14	H15			
1 高速情報通信ネットワークの整備								
1) 行政機関相互の情報通信ネットワーク整備	みやぎハイパーウェブの整備	県機関・市町村とのネットワーク整備、市町村内情報ネットワーク整備促進	構想・設計	構築	運用	情報システム課	・インフラは、みやぎハイパーウェブに県の行政機関、県立学校が接続済み。今後は県立病院、図書館等の施設、市町村・小中学校接続が課題。 ・アプリについては、住基ネット及びみやぎハイパーウェブを活用したLGWAN・新SWANへの市町村接続が今後の課題。	
	住民基本台帳ネットワークシステムの整備	住民基本台帳の電子化・ネットワーク構築	構築	一部運用	運用	市町村課		
	総合行政ネットワークの整備(LGWAN)	国・県・市町村の行政機関間のネットワーク構築	県接続		市町村接続	情報政策課		
2) 小中学校・高等学校情報ネットワークの整備	宮城県学習情報ネットワークの充実(新SWAN)	小中高等学校の高速インターネット接続とコンテンツ提供のためのネットワーク整備		再構築	運用	義務教育課	・県立学校全校が接続済み。今後は市町村立学校の新SWAN移行が課題。 ・移動体通信のサービスエリアは拡大、しかし依然、圏域外となるエリアあり。 ・都市部の民間サービスは充実、しかし依然、36市町村が高速大容量・定額常時インターネット接続サービス未実施。	
3) いつでもどこでも誰でも気軽に情報にアクセスできる環境の整備	電気通信格差是正の推進	移動通信用鉄塔施設の整備推進、新世代地域ケーブルテレビ施設の整備推進	実施			情報政策課		
2 産業の情報化、情報産業等の集積促進								
1) ITを活用した経営革新の促進	宮城版ITSSP(ソリューション・スクエアプロジェクト)の推進	ITコーディネータによるアドバイス、戦略的情報化投資関連情報の提供、経営者向けセミナーの開催	実施			新産業振興課	・アドバイザー派遣、セミナー実施など一定の成果、中小企業のIT活用推進への効果を踏まえ、今後の事業展開を検討すべ ・システム整備済み、ビジネスサイトの検討では、民間サイトとの役割分担を再度確認が必要。	
2) 産業振興情報ネットワークの整備	各種産業支援機関のネットワーク化、共通データベース構築、企業等への情報提供システム整備	24産業支援機関をグループウェアで結び、情報共有、相談・指導に活用、県民に情報提供	システム構築	運用		新産業振興課		
3) みやぎマルチメディア・コンプレックス構想の推進～情報産業集積拠点の形成～	みやぎ食MBCネットプロジェクトの推進	産業支援情報提供システム構築、食関連事業者に対するアドバイザー派遣、食材王国みやぎHPによる情報提供	着手	システム構築・運営		産業経済総務課	・高度IT人材育成、企業誘致に一定の成果。 ・電子認証は東日本電子認証普及促進協議会等による今後の普及啓発、活用促進が課題。 ・IXは、当面、東北地域情報通信ネットワーク連携協議会による地域IXの実証実験、活用と今後の方向づけが課題。 ・ベンチャー支援は事業の再構成が必要。 ・大容量通信基盤整備は、都市部での民間サービスが充実してきており、今後の位置づけ、進め方の検討が必要。 ・インセンティブ促進と企業立地促進の各事業との関係整理が必要。	
	電子認証基盤の整備	電子申請等に必要の本人確認・証明書発行等の基盤を整備		設計・構築		情報政策課		
	情報通信関連企業立地促進奨励金の交付	IT関連事業所を新設・増設・移転する企業が行う初期投資に対する補助	制度創設		制度拡充			情報産業振興室
	ITビジネスの戦略的誘致	IT関連企業立地説明会、企業訪問、広報活動	実施					情報産業振興室
	ITベンチャーの支援	ビジネスプランへのアドバイスと機器類整備・研修受講等に対する補助、プレ・インキュベーションの設置	実施					情報産業振興室
	グローバルIXの形成	インターネット・エクスチェンジの設置支援			調査研究 IX設立支援			情報政策課
	デジタルコンテンツ産業の振興	デジタルコンテンツの開発、商品化等への支援			実施			情報産業振興室
東北テクノロジーセンター運営・支援	高度IT技術者養成のための講座を実施・運営			設置・試行		情報産業振興室		
3 県民生活に関する情報化の推進								
1) 医療・福祉・健康ネットワークの整備	病院内情報システムの整備促進(オータリクシステム)	病院内情報システム(電子カルテ、オータリクシステム、医事会計システム等)を整備する医療機関に対する助成	(整備)	(稼働)		医療整備課	・古川市立病院、県立こども病院など県内の公立病院等で病院内情報システム、遠隔医療システム等の取り組みが始まりつつある。これらシステムの普及が課題。 ・ひとり暮らし老人・徘徊高齢者等のサービスを継続実施しているが、協力員等の地域ネットワークの定着が課題。 ・その他の保健福祉のニーズについても幅広く取り上げ、今後検討していくことが必要。	
	地域医療充実のための遠隔医療補助(テレパロジック、在宅患者遠隔医療、テレラジオ)	在宅患者に対する遠隔医療を行うシステムを整備する医療機関に対する助成	実施	本格運用		医療整備課		
	みやぎメディカルモール推進	電子カルテなど医療情報のIT化とネットワーク化の推進	事業支援			医療整備課・情報産業振興室		
	みやぎメディカルモール推進 電子カルテ・レセプト電算処理システム導入促進	電子カルテとレセプト電算処理システムの一体的な導入を行う病院に対する補助			整備・運用	医療整備課		
	県立こども病院情報システムの整備	病院内情報システムと地域連携システムの構築	システム開発		運用	小児医療施設整備室		
	ひとり暮らし・徘徊高齢者支援システムの整備	ひとり暮らし老人緊急通報システム、徘徊高齢者家族支援サービスの実施	実施			長寿社会政策課		
2) 障害者のIT活用環境の整備	福祉機器開発促進モデル事業の推進	福祉機器プラザの設置、福祉機器開発シーズ調査、福祉産業関連データベース整備など	実施			新産業振興課	・DB化、情報提供実施中。他事業との連携による福祉機器の開発が課題 ・一定の講習を実施、今後の展開検討が課題	
3) NPO・ボランティアの情報化推進	NPO情報化の推進	NPOを対象とした講習会の開催	実施		(H14まで)	NPO活動促進室		
4) 環境情報プラットフォームの構築	環境情報提供システムの構築	化学物質環境リスク情報をはじめとする各種環境情報を提供する基幹システムの構築	着手		システム構築・運営	環境対策課	・システム整備済み、H15からHPでの情報提供、今後、システムの維持、対象の拡大充実、処理機能強化などの検討が課題。 ・資源循環推進課	
	産業副産物リサイクルネットワークの構築	産業副産物リサイクル情報を排出事業者やリサイクル事業者が受信できるシステムの整備	基礎調査		NPOによる事業化	生涯学習課		
5) 学習・文化振興情報プラットフォームの構築	図書情報の総合目録化、インターネット情報発信の充実	県内各公立図書館の蔵書をインターネットで検索・予約できるシステムの構築	実施	運用		生涯学習課	・県図書館など14公立図書館の蔵書検索システムを稼働、県内27の全公立図書館に拡大が課題。	

宮城県IT戦略推進計画の進捗状況について(総括表)

各分野の目標・施策	プロジェクト	プロジェクトの内容	事業スケジュール			担当課	課題等
			H13	H14	H15		
4 電子自治体の推進							
1) 電子情報公開、提供、発信の推進	携帯端末活用「新世紀みやぎ」情報発信事業の推進	携帯端末向け行政情報提供サービスの実施	実施・運用			産業経済総務課	・携帯端末用情報発信「ポケットみやぎ」全種類の携帯等端末(6種類)向けに対応、今後も継続。 ・警察情報提供は、スケジュールを繰り延べ、電子県庁共通基盤との関係整理が必要。
	警察情報提供の充実	行政文書の検索・閲覧システム、電子申請の実施		電子申請システム検討(H16)	運用	警察本部情報管理課	
2) 電子申請、電子文書管理の推進	電子申請の推進	電子申請・届出システムの開発		システム構築	システム検討	情報政策課・行政政策課・私学文書課	・電子県庁アクションプログラム等により具体的なスケジュールを策定、推進。
	総合的文書管理システムの導入	文書收受・決裁・情報公開の連携した情報システムの構築		基本設計	基本設計	私学文書課・情報政策課	
	警察文書管理システムの導入	文書の電子化、文書検索システム構築		システム検討	設計	警察本部情報管理課	
	電子認証基盤の整備(2に掲載)	電子文書交換、電子申請等のための認証基盤整備		設計	設計	情報政策課	
	総合行政ネットワークの整備(LGWAN、1に掲載)	国・県・市町村の行政機関間のネットワーク構築	県接続			情報政策課	
3) 電子調達、電子入札の推進	電子入札・調達の推進	入札情報提供、電子入札システムの開発		システム検討	システム開発	土木部・産業経済部・契約課	・電子県庁アクションプログラム等により具体的なスケジュールを策定、推進。
	公金収納の電子化	電子決済システムの検討		システム検討		会計課	
4) ITを活用した業務改革の推進	情報システムの戦略的アウトソーシング	アウトソーシングの手法検討、環境調査、実施		環境調査		情報政策課・情報システム課	・アウトソーシングは環境調査の継続、ナレッジマネジメントは各部内で取り組み、一定の成果。今後はその継続。
	ナレッジマネジメント・BPRの推進	県庁内の情報・知識の共有と有効活用推進	構築	(部内展開)	(全庁展開)	産業経済総務課	
5) GISを活用した行政情報システムの推進	森林情報管理システムの整備	森林情報管理システムの再構築		システム再構築検討		林業振興課	・一部スケジュール繰り下げ、継続検討。
	河川流域情報システム、道路管理システムの構築	河川・砂防情報システムの再構築、道路管理システムの検討	河砂:基本計画	詳細設計	機能検討	土木総務課他	
5 人材育成の強化							
1) 情報教育環境の充実	学習情報ネットワークの充実(新SWAN、1に掲載)	小中高等学校の高速インターネット接続とコンテンツ提供のためのネットワーク整備	H13	H14	H15	義務教育課	・県立学校全校が接続済み。今後は市町村立学校の新SWAN移行が課題。
2) 障害者に対する情報バリアフリー化の促進	チャレんじど情報塾の開催	障害児パソコン講習会、ボランティア養成講座、パソコン訪問講座、養護学校等モデル講習の実施	実施			障害福祉課	・研修の実施、拠点の設置等一定の成果。今後、就労への展開が課題。
	障害者就労等IT研修の実施 障害者IT就労支援事業(仮称)障害者ITソリューションスクエア	障害者指導者養成研修、障害者パソコン講習会、パソコン訪問講座、相談、就労支援の窓口となる中核機関の設置		実施	窓口機能付加	障害福祉課	
	障害者情報バリアフリー化支援事業の推進	重度障害者のパソコン購入に対する助成	実施			障害福祉課	
	電話ナビゲーションシステムの推進	視覚障害者に新聞等の最新情報を電話で即日提供	設置・運営			障害福祉課	
3) 県民の情報リテラシー向上	IT講習の実施	ITの基礎技能習得のための講習の実施	実施		(12月まで)	情報政策課他	・IT講習により11万人を超える受講者、一定の成果。今後はIT講習のフォロー、市町村が行うサポート事業等の支援が課題。
	IT基礎技能習得等住民サポート事業の実施	習得したリテラシーを活用するための相談窓口設置、地域リーダー講習の実施			未定	情報政策課	
4) ネットワークセキュリティ対策の強化	職員研修の充実	職員に対するネットワーク技術、セキュリティ対策研修の充実	実施			情報政策課	・継続実施、内容の充実が課題(セキュリティ・知的財産関係、ネットワーク管理など)。 ・市町村職員の研修・技術支援が課題。
5) 高度IT技術者の養成	みやぎ情報天才異才塾の開催 みやぎデジタルアカデミーの開催(H15)	次世代のIT人材を育てる小中学生対象の情報化塾を充実 高校生世代及び情報処理教育等に携わる高校教員へも対象を拡げる	実施			情報政策課	・みやぎ天才異才塾の新たな展開とこれまでの受講生のフォロー、東北テクノロジーセンターで養成された人材の活用が課題。
	東北テクノロジーセンター運営・支援(2に掲載)	高度IT技術者養成のための講座を実施・運営	設置・試行	運営		情報産業振興室	
合計	合計 : 44(+1)プロジェクト						